



JASDAQ

2022年3月28日

各 位

会 社 名 株式会社 イメージ ワン
代表者名 代表取締役社長 島岡 潤
(JASDAQ・コード2667)
問合せ先 執行役員管理部長 早生 信彦
(TEL 03 - 6233 -3410)

トリチウム分離技術実装プレパイロット装置の製作について

当社は、2022年3月11日付で公表しました『(開示事項の経過) 東京電力ホールディングス株式会社の公募「多核種除去設備等で浄化処理した水からトリチウムを分離する技術」に対しての進捗状況について』の通り、創イノベーション株式会社(本社：東京都千代田区 代表取締役：神保安広、以下、「創イノベーション」)と取り組んでいる、東京電力ホールディングス株式会社の公募「多核種除去設備等で浄化処理した水からトリチウムを分離する技術」に対して応募しており、「評価基準を満たすと判断しました。」と二次評価結果の連絡が届いた状況です。

このような中、当社は2022年3月23日付の取締役会で、トリチウム分離技術実装プレパイロット装置の製作について決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. トリチウム分離技術実装プレパイロット装置製作の目的

本プレパイロット装置は、東京電力ホールディングス株式会社より依頼されている、二次評価の次のステップとなるフィージビリティスタディで求められる「提案社の技術能力および処理能力達成可能性」「廃棄物等」「運用性」「法令適合性等」「その他」の検討項目を明確にした実証試験に関する提案を行うことと、その更に次のステップとなる「福島第一原子力発電所構外における小規模実証試験」での使用を目的としています。

2. トリチウム分離技術実装プレパイロット装置製作の内容

当社は、東京電力ホールディングス株式会社が2022年3月10日付けで公表した「ALPS 処理水等からトリチウムを分離する技術の公募に係る 第1回募集の二次評価と第2回募集の一次評価について」の「二次評価後のプロセス」に基づき、要求されるフィージビリティスタディ(実行可能性調査)及び、福島第一構外での小規模実証試験に必要な「実プラントへ拡張可能な1/100~1/10のスケールのオフサイトでの小規模実証試験」機に該当する、プレパイロット装置の製造に着手いたしました。

本プレパイロット装置は、2021年7月15日付で公表しております「慶應義塾大学理工学部及び創イノベーション株式会社とのガスハイドレートの共同研究開始に関するお知らせ」の慶應義塾大学理工学部大村研究室に設置し、実装技術に経験豊富な大村亮教授の指導の下で試験検討をすすめてまいります。

3. トリチウム分離技術実装プレパイロット装置製作の費用

装置製作費用 15,941千円(税別)

本プレパイロット装置は、販売費及び一般管理費に計上予定としております。

4. 今後の見通し

本件による2022年9月期の当社業績への影響につきましては、今後、具体的な進捗が生じ、業績に重大な影響を与えることが判明した場合は速やかに公表させていただきます。

以 上